

# 沼高PTA会報

岩手県立沼宮内高等学校PTA事務局

〒028-4398 岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-4 ☎0195-62-2388(職)・62-2334(事) FAX 0195-62-3203  
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/nkn-h/> 印刷 河北印刷株式会社

## いあいあり

PTA会長

岩 館 一 じ ず え

平素は本校のPTA活動にご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

今年度も未知なるコロナウイルスの影響で、PTA活動も思うように行う事も出来ず、社会全体が翻弄されています。様々な恐怖心、不安感で毎日を送られてきたと思います。この現実を受け入れなければいけない気持ちと、当たり前に日常を送れない悔しさとの葛藤の日々を送った一年になったと思います。

この厳しい現実の中でも、沼宮内高校では様々な行事、部活動で活躍しました。4月の入学式から始まり、6月の体育祭、7月のボランティア活動、10月の文化祭と、制限がありながらも、校長先生を始め、先生達の努力により開催する事が出来ました。一言で開催と言ってもその中にはたくさんの方の努力、我慢、工夫があった事でしょう。これも、これからの人生において一つの大きな経験だと思えます。

また、部活動においては吹奏楽部が十数年ぶりに県北地区大会に出場しました。卓球部は県高総体男子団体3回戦進出！！

女子団体2回戦進出と大活躍をみせました。男子ホッケー部はインターハイ出場。残念ながら初戦敗退となりましたが、全国の風を味わう経験が出来ました。12月には2年ぶりにアベックで、全国選抜大会に出場しました。他にも結果を残せなかった部もあると思いますが、高校生活で取り組んだ部活動は一生の経験に繋がります。

また、県費より、全校生徒のタブレットの導入、教室のエアコン工事開始などもありました。「総合的な探究の時間」では、SDGSについて学び、これからの生き方に関係ある知識を得、それに対して考える事が出来たと思います。そして、岩手町広報「沼高WEB」が11月から毎月掲載され、本校の活動や取り組みを岩手町の皆さんに知って頂く事が出来ました。

そして、一年越しの東京オリンピック開催！！本校出身の瀬川選手がオリンピックの大舞台で活躍されました。これは本校の生徒はもちろんの事、岩手町の皆に笑顔をもたらしてくれました。夢は叶う！努力は成功に繋

がる！という事を現実にしてくれました。また、オリンピック繋がりで、アイルランド代表選手とのオンライン交流といった、普段できない大きな経験をする事が出来た一年でした。

さて、3月に卒業を控え、4月から新たなスタートに立つ3年生。社会のルールを守る事！はもちろんですが、皆さんがこれまで培ってきたこういった様々な経験を生かし、この先「誰かを責めるのではなく、大切な誰かを力強く守る、そして応援する為の力になれる」そんな人間であって欲しいと思います。そしてより磨きをかけ、どんどん遊び、どんどん学び、どんどん経験し、知らない扉を開き、失敗も経験に活かし、自分の足で歩き、たくさん仲間と出会い共に明るく楽しい日々を過ごしてほしいと思います。

重ねてのお願いにはなりますが、今後ともPTA活動においてご協力を頂き、生徒達が安心して高校生活を送れるようお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生はじめ、教職員の皆様にはコロナウイルスにより、本当に神経を使っただけでなかったかと思えます。この大変な中でもこうして一年何事もなく終えることが出来た事に本当に感謝申し上げます。

今後も皆様のご多幸と本校の

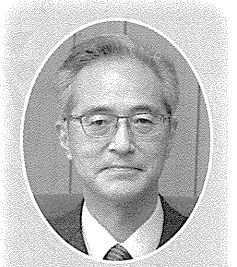
益々の発展を祈念いたしまして挨拶と致します。一年間、本当にありがとうございました。



総合的な探究の時間 (1年デジタルマップ)



総合的な探究の時間 (2年起業体験プログラム)



ごあいさつ

校長 熊谷賢児

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対するご理解とご協力をいただいております。ことに、厚く感謝申し上げます。

令和3年度も残すところあとわずかとなりました。特にも卒業生の保護者の皆様には、3年間のご労苦に対し敬意を表するところでもあります。この3年で心身ともに成長し、進学先や就職先で新たなスタートを切ることにあります。卒業生には、これからは同窓生の一員として本校を支えていただきたいと思えます。

さて、振り返りますと今年度もコロナに振り回された1年でありました。感染予防対策として学校内外のあらゆる行事に制限がかけられました。入学式式場への入場制限、対面式や部紹介、校歌応援歌練習等の実施方法の変更、高総体の一般入場禁止、沼高祭の校内のみでの開催、そして修学旅行の中止などなど。生徒自身はもろもろ、保護者の皆様にもご不便をおかけしました。そして、本校での感染者の発現の際には、保護者およ

び職員の俊敏な対応により、蔓延を防止することができました。まさにコロナ対応に忙殺された1年でした。

本校の新たな取り組みとして来年度入学生より「県外からの志願者受け入れ」を行うことといたしました。本来は保護者の転動にかかわる一家転住などの特別な理由がなければ県外からの入学はできないこととなっていました。しかし、近年、「地域人材の育成やふるさと振興の視点から、学校と地域が連携する体制が整っている」という条件等を満たせば県外募集も可能となり、岩手町の協力を得ながら実施に踏み切りました。町内の児童生徒の減少から来る入学者減に加え、町技であるホッケー人口の確保に良い影響を与えてくれることを期待しているところではあります。

さて、10年ほど前に沼高生の素晴らしい出会いがあり、今でもそれが沼高生の印象として心に残っています。以下の文章はその想い年度初めの始業式で生徒に紹介したものです。

その日は大変暑く、何もしなくても汗がにじんで来る日でした。10年ほど前は沼宮内高校にもまだ野球部があり、春季地区予選大会に参加していました。

が、選手数は試合に参加できるぎりぎりの9人での出場でした。怪我などで一人でも欠いてしまえばその時点でスコア上0-9での負けとなります。現在の連合チームという制度はなく、単独校での出場が必須でした。沼宮内高校の選手は、9人のうち8人が野球部員で足りない一人をほかの部活からのレンタル(以下A君)での出場だったそうです。A君は、ライトで9番を任せられましたが、体も細くバットも満足には振れない様子でした。

回も中盤に入り、そのA君の打席でアクシデントが起きました。思いっきりスイングしたところ、バットを握っていた手にピッチャーの投げた硬球がダイレクトに当たったのです。A君はかなり痛そうでしたが、リタイヤするわけにはいきません。痛いのをこらえ、プレーを続けました。手の痛みと暑さをこらえながら、それから2イニングほど過ぎたところ、ライトの守備位置でしゃがみ込み、動けなくなっていました。慣れない暑さの中、軽い熱中症になったようです。後で聞いた話ですが、手の方も指を骨折していた

そうです。

自分が抜ければ、チームの敗戦が決まってしまう。野球部員8人で積み上げてきたこれまでの努力を無駄にしてはならないという思いと責任感から、暑さでの体調不良と指の痛みに耐え、ここまで頑張りましたが限界でした。もちろん試合はそこで終了となり、0-9での敗戦となりました。

部員に肩を支えられながらベンチに戻ってきたA君は泣いていました。8人に対しての申し訳なさからだと思います。しかしながら、その後の野球部の8人の言動に感動を覚えたことを今でも覚えています。誰一人と

卒業にあたって

3学年長 石田和秀

を奪われ悔しい思いをした選手、沼高祭や体育祭も縮小開催となるなど残念に思った生徒も多かったと思います。

今年の3年生は入学してから卒業までの間に、平成と令和をまたぎ、東京オリンピックの延期と無観客での開催、新型コロナウイルスの蔓延と大きな出来事がありました。特に新型コロナウイルスの世界的な流行はマスクを常用しての生活など、高校生活がこれまでとは大きく変化せざるを得なかった事件でした。国体やインターハイが中止になり、培った力を発揮する場

して、A君を責める者はおらず、逆に「おまえのおかげで、本来部員不足で出場できないはずの大会に参加できた。全員、感謝している。ここまで痛いのを我慢させてごめん。」といいながら、全員でA君を囲んでいました。その後、A君は別な意味の涙を流していました。このさわやかですがすがしい生徒達を作る風土が、岩手町や沼宮内高校にはあるのだと思いました。相手を思いやり、それぞれの個性や性格の違いを長所として認め合える、素朴で実直、さわやかで心優しい沼高生を誇りに思い、一日一日を楽しみながら生活をしています。

しかし、部活動では先の見えない中、強い心で互いに励ましあい、それぞれの部活動が成果を上げました。体育祭や沼高祭は創意工夫により大変素晴らしいものになりました。生徒会を中心に各委員会、また全校生徒の協力により成し遂げられたものでした。その苦労は例年を遙かに上回るものであったことでしょうか。修学旅行も中止にせざるを得ませんでした。不満の声は聞いたことがありませんでした。3年生の時に修学

旅行の話に触れたとき、私たちの思い出はコロナです、と笑っていた君たちの顔は一生忘れないと思います。

入学式の次の日のオリエンテーションで、まだ幼さの残る皆さんを前に「高校生活頑張ってください。頑張るとは我慢をすることです。勉強が嫌でも我慢して勉強する、学校に来るのが嫌でも我慢して学校に来る、…」と話したことを思い出します。3年間、君たちは十分にその期待に応えてくれました。新型コロナウイルス蔓延により、そのときには想像もできなかった、より多くのことを我慢しなければならぬ結果となりましたが、それにも十分に耐えてくれた生徒達であったと思います。3年生の皆さんの高校時代には歴史的な出来事がこれでもかと起こりました。未来の教科書には、新しい時代の始まりとして紹介されているのかもしれない。140年前に20歳から成人と定められた法律が改正され、4月1日に全員が一斉に成人となり、立場も環境も大きく変わり、戸惑うこともあるでしょう。様々な苦しい体験を笑って乗り越えてきた卒業生の皆さんは、それぞれの道で大いに頑張ってくれていると思います。新しい世界に力強く一歩を踏み出す3年生諸君、卒業おめでとう。そして成人おめでとう。

＊進路状況について＊

進路指導主事 樋沢 豊

3年生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事や各種大会が縮小されたり、中止になるなどして2年が経過しました。このような高校生活の中で、3年生はそれぞれの進路を達成できるように努力してきました。

進学に関しては、岩手県立大学に1名、盛岡大学や東北学院大学などの私立大学に5名、盛岡大学短期大学部に2名、各種専門学校に14名、合計22名の進路が決定しました。

就職に関しては、求人票の受付が7月1日から始まり、民間企業選考開始が9月16日と、コロナ禍前の日程に戻りました。5月から就職希望する企業を探し、7月から夏休みにかけて企業見学を行って、受験する企業を決定しました。自分に向いている職業や職場を選ぶために、一人で教社の見学をした生徒もいました。最近の傾向としては、多くの民間企業が筆記試験を実施しているという事です。就職希望者も、普段の授業で、基礎的な学力を身に付けておくことが必要だということがわかります。最終的に、岩手町を含む盛岡管内15名、県内1名、

合計16名の就職内定をいただきました。

令和4年1月に、3年生の進路や就職に関する受験体験を、1・2年生に伝える「先輩と語る会」が実施されました。3年生が「先輩へのアドバイス」として話していたことは、「勉強して知識を増やす」「部活動を頑張る」「ボランティア活動に参加する」「いろいろな人と話をしてコミュニケーション能力を身につける」「学校を休まない」「遅刻をしない」「挨拶をしつかりする」などでした。内容を整理してみると、普段の高校生活を充実させ、きちんと意識して生活することが大切だということでした。

在校生の保護者の皆様にお願ひしたいことは、「進学か就職か」「県内か県外か」「自宅から通えるところか一人暮らしか」「入学費用や生活費用はいくらかかるのか」「成績は大丈夫か」「家庭の諸事情」など総合的に考えて、進路についてお子さんと話を進めていただきたいということです。3年生になつてから、迷わないように早めに相談をしておくようお願いいたします。

最後に、在校生が進路希望を達成することと、卒業する皆さんが社会人として活躍していくことを期待しています。

令和3年度卒業生 進路決定状況一覧 (2/9 現在)

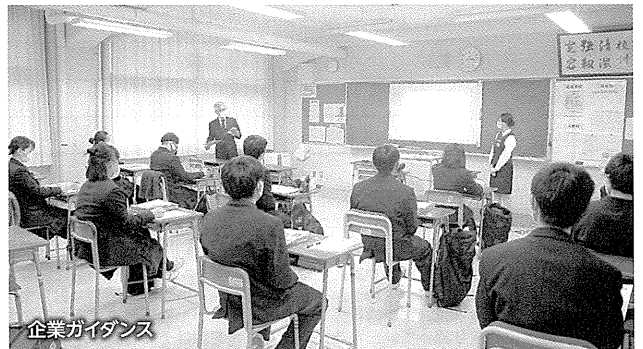
	1組 (19名)		2組 (21名)		計	
	男子	女子	男子	女子		
進学	四短		3	2	5	
	医療系専門・短大			4	4	
	上記以外の専門学校	2	3	1	5	13
	文部科学省管外の学校			3	5	0
	その他					0
	小計	2	3	7	11	23
就職	管内外	11	1	2	1	15
	公務員	1				0
	公務員					0
	公務員					0
	小計	12	1	2	1	16
合計	14	4	9	12	39	

【主な進学先】

- ・岩手県立大学 ・盛岡大学 ・東北学院大学 ・山梨学院大学
- ・山形県立米沢短期大学 ・盛岡大学短期大学部 ・岩手リハビリテーション学院
- ・北日本医療福祉専門学校 ・北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ
- ・菜園調理師専門学校 ・盛岡医療福祉スポーツ専門学校
- ・盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 ・盛岡外語観光&ブライダル専門学校

【主な就職先】

- ・一般社団法人葛巻町畜産開発公社 (くずまき高原牧場)
- ・岩手農協チキンフーズ株式会社八幡平工場 ・SWS東日本株式会社岩手工場
- ・社会福祉法人日新福祉会 ・新岩手農業協同組合 ・株式会社小山田工業所
- ・株式会社カガヤ ・株式会社ジャパンファーム東日本チキン事業本部
- ・キオクシア岩手株式会社 ・ニチコン岩手株式会社
- ・有限会社外山商店 ・マジックパール株式会社東日本事業部



R3. 11. 30(火)～12. 13(月)実施、回答104名(105世帯中)99.0%(昨年度104名 99.0%)

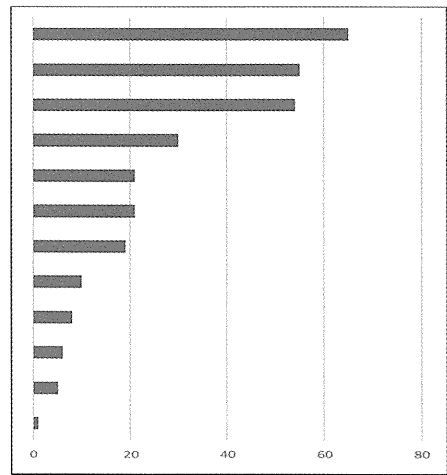
令和3年度 保護者による学校評価

評価基準	「そう思う」と「ややそう思う」の合計			
	80%以上	A	65%以上	B
	45%以上	C	45%未満	D

質問項目 (回答:A=そう思う、B=ややそう思う、C=あまり思わない、D=思わない)	今年度の評価(%)				昨年度の評価(%)					
	総合評価	A	B	C	D	総合評価	A	B	C	D
1 本校の学校経営方針はわかりやすい。	A	34	60	6	1	A	31	60	9	0
2 本校は「特色ある学校づくり」に努めている。	A	38	50	11	2	A	33	52	15	0
3 本校は「開かれた学校づくり」に努めている。	A	35	53	10	3	A	35	57	8	0
4 P T A 会報など本校からの保護者向け発行物は、内容が適切である。	A	44	53	2	1	A	37	52	11	0
5 本校の教職員は、家庭との連携を十分に図っている。	A	41	52	5	2	A	37	49	13	2
6 本校の教職員は、保護者へ適切に接している。	A	49	44	7	0	A	38	52	9	1
7 本校の学校行事は、バランス良く編成されている。	A	45	51	4	0	A	38	55	6	1
8 本校の学習環境は、整っている。	A	42	50	7	1	A	34	52	14	0
9 本校は、生徒の服装指導やあいさつ・マナー指導を適切に行っている。	A	46	47	6	1	A	37	53	8	2
10 本校は、いじめの未然防止・早期発見に係る取組について適切に対応している。	A	38	51	10	2	A	38	46	13	3
11 本校は、欠席・遅刻・早退がないように適切に指導している。	A	44	54	2	0	A	38	57	5	0
12 本校は、進路に関わる情報を適切に提供している。	A	47	49	4	0	A	37	54	8	1
13 本校は、進路決定に向け、個別面談など生徒の相談に適切に応じている。	A	47	44	8	1	A	35	53	11	1
14 本校の教職員は、生徒に対して適切に接している。	A	44	47	6	3	A	40	48	11	2
15 本校は、学習評価を適切に行っている。	A	49	47	4	0	A	43	55	2	0
16 本校は、部活動を指導内容・休み・費用面で適切に実施している。	A	49	45	6	0	A	45	48	6	2
17 本校の学校徴収金の金額は適切である。	A	54	42	4	0	A	52	43	4	1
18 本校に入学させて良かった。	A	65	31	3	1	A	53	40	5	2

◆指導を強化して欲しいこと(3つまでの複数回答) (実数)

	全体
コミュニケーション能力	65
ビジネスマナー(礼儀作法・整容を含む)の育成	55
基礎的学力の定着・伸長	54
就職指導	30
進学指導	21
部活動	21
ボランティア、地域貢献活動などの地域連携活動	19
18歳選挙権に応じた政治的教養の育成	10
安全教育や防災教育	8
公務員合格のための指導	6
食育教育	5
その他(もっと特色を出した授業内容を、パソコンに力を入れるとか他校には無いスポーツをアピールするとか)	1



◆学校への意見や要望(自由記述)

- 1 ホッケー以外の部活動にも力を入れてほしい
- 2 就職活動の大変な時に、ご迷惑おかけしました。先生方には感謝しております。ありがとうございました。
- 3 進学も就職も中途半端。今の時代の流れに乗れて無いら人が集まらないのでは。
- 4 生徒にもう少し寄り添っていただきたい。話に耳を傾けその背景、本心を読み取っていただきたい。
- 5 地元からの生徒が多く、狭いコミュニティの中での成長をマイナスに捉えず、先生方の広い視野・経験、又地域を上手く利用してほしいです。
- 6 文化祭の動画をアップされたとの連絡は頂きましたが、工事中をタップしても、1度も観ることが出来ず、アップの期間が終了。とても残念です。この件に関してどこからも声が上がらなかったのでしょうか？

◆保護者の皆様へ

- 「令和3年度 保護者の皆様による学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。集計結果につきましては、ご覧のとおりとなりました。
- 1 1～18の評価項目のABCDはパーセンテージの整数値で表しています。小数点以下は四捨五入していますので、トータルが100とならない項目もあります。
  - 2 全体的に「そう思う」、「ややそう思う」という回答(以下、肯定的な回答)の合計が80ポイントを超えた項目を「総合評価A」として集計しております。
  - 3 肯定的な評価ポイントが80未満で65以上の項目を「総合評価B」、65未満で45以上を「総合評価C」、45未満を「D」として集計しております。
  - 4 18項目すべての項目において、「そう思う」、「ややそう思う」の回答合計が80ポイント以上という肯定的な回答をいただきました。
  - 5 肯定的評価では、「No.11本校は、欠席・遅刻・早退がないように適切に指導している」、が98ポイントと最も高かったです。
  - 6 「No.2特色ある学校づくりに努めている」「No.3開かれた学校づくりに努めている」「No.10いじめの未然防止・早期発見に係る取組について適切に対応している」の項目が、総合評価Aではありますが他の項目に比べやや低くなっております。学校づくりに関しては、コロナ禍によりPTA活動や学校行事等が中止となり例年のような取り組みができなかったことも一因かと考えます。今後一層特色ある学校作り、適正な情報開示等に努めて参ります。なお、本校のHPは、生徒の日々の活動の様子がわかるように随時アップデートされております。また岩手町広報では本校の特集ページ「沼高With」も始まりましたので是非ご覧ください。いじめに関しては、早期発見のためにこまめにアンケート調査等を実施し、積極的な認知を心がけ、問題があった場合には速やかに解決できるように取り組んでおります。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。
  - 7 「ご意見やご要望等」では、貴重なご意見を頂戴しました。いただいたご意見を、今後の指導のあり方、指導内容に反映させていただきたいと思っております。アンケートの結果は、学校評議員会における学校経営に関する意見聴取の資料として活用させていただきます。今後ともPTAの活動にご協力いただきますよう、よろしくをお願いいたします。不明な点は、本校の副校長にお問い合わせください。

部活動の記録

ホッケー部

【男子】

令和3年度岩手県新人ホッケー大会

・決勝 沼宮内―不来方

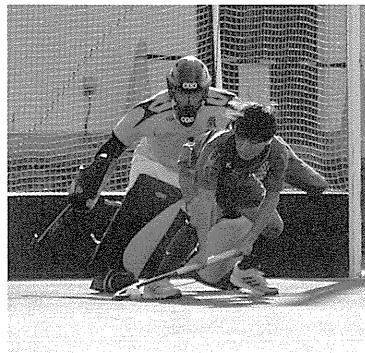
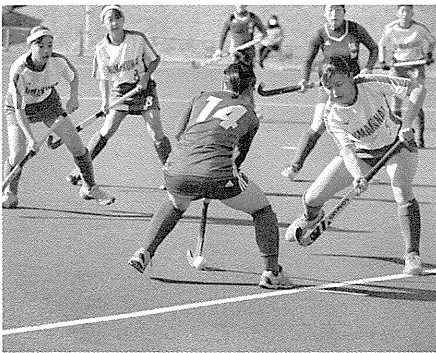
※沼宮内優勝(不戦勝)

令和3年度全国高等学校選抜ホッケー大会東北地区予選会

・準決勝 沼宮内6―0修明(福島)

・決勝 沼宮内2―3置賜農業(山形)

※準優勝



全国選抜大会出場権獲得  
第53回全国高等学校選抜ホッケー大会

・1回戦 沼宮内1―1

(S02―3)須知(京都)

【女子】

令和3年度全国高等学校選抜ホッケー大会東北地区予選会

・準々決勝 沼宮内10―0三沢(青森)

・準決勝 沼宮内1―0不来方(岩手)

・決勝 沼宮内0―2築館(宮城)

※準優勝

全国選抜大会出場権獲得  
第53回全国高等学校選抜ホッケー大会

・2回戦 沼宮内0―1須知(京都)

ソフトテニス部

第66回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技二戸地区予選

【個人戦ダブルス 女子】

(予選通過数6組)

《予選リーグ》

・中山、鷹鷲④―1田澤、小堀(葛巻)

・中山、鷹鷲④―3田口、掌ヶ澤(一戸)

※中山、鷹鷲組は、2勝0敗で1位

リーグ代表決定戦へ

・立花、橘④―1本地、近藤(葛巻)

・立花、橘③④釜石、堂ヶ澤(一戸)

※立花、橘組は、1勝1敗で2位

リーグ代表決定戦へ



《1位リーグ代表決定戦》

・中山、鷹鷲0―④山館・戸田(軽米)

※中山、鷹鷲組は、予選3位で個人

戦県大会出場権獲得

《2位リーグ代表決定戦》

・立花、橘②―④山岸・山下(葛巻)

※立花、橘組は、代表決定戦で予

選敗退

【団体戦女子】

(参加校全通過のため順位決定戦)

※雨天のため中止

第66回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技

【個人戦ダブルス女子】

・1回戦 中山、鷹鷲3―④吉田、菊池(盛岡)

【団体戦女子】

・1回戦 沼宮内1―②盛岡商

卓球部

令和3年度岩手県高等学校新人大会卓球競技二戸地区予選

男子学校対抗

リーグ

沼宮内 2―3(福岡)

沼宮内 3―0(一戸)

3位決定 沼宮内 1―3(福岡工)

女子学校対抗

リーグ

沼宮内 2―3(軽米)

沼宮内 3―1(葛巻)

3位決定 沼宮内 3―2(福岡)

県大会出場

男子シングルス

丹野太一

2回戦 3―0大平隼人(福岡工)

3回戦 1―3東山颯埜(福岡)

三浦圭登

1回戦 3―0大崎雅嗣(福岡工)

2回戦 0―3福田柊真(軽米)

田中涼介

1回戦 3―0久保田牙輝(福岡工)

2回戦 0―3圃田康生(軽米)

岩崎 拓

1回戦 1―3森越仁(伊保内)

三浦省吾

1回戦 0―3山本涼太(福岡工)

柴田輝音

1回戦 0―3上村慎之介(一戸)

川上大輔

2回戦 3―0滝浦千枝(一戸)

3回戦 3―0佐木治親(福岡工)

4回戦 2―3熊谷太一(葛巻)

5位決定戦

1―3東山颯埜(福岡)

四垂海樞

1回戦 3―0千葉翼(葛巻)

2回戦 1―3桜庭貫之(福岡工)

四垂光樞

1回戦 3―0田鎖湧希(福岡工)

2回戦 1―3中村祐輝(福岡)

橘 玲

1回戦 3―0佐藤柊介(福岡工)

2回戦 0―3小原義登(福岡)

女子シングルス

森 美香

1回戦 3―1冬澤里香(葛巻)

2回戦 1―3觸澤彩莉(伊保内)

丹内心愛

1回戦 3―1毛島まひろ(福岡)

2回戦 1―3吉田希美(一戸)

早坂優希菜

1回戦 3―1谷地一折(葛巻)

2回戦 2―3田川真保(福岡)

桐ヶ久保乃杏

1回戦 1―3榎谷藍良(葛巻)

佐々木萌

1回戦 3―0大川原杏実(葛巻)

2回戦 0―3関向怜奈(軽米)

男子ダブルス

川上・四垂光

2回戦 3―0久保田・村木(福岡工)

3回戦 1―3桜庭・日向(伊保内)

岩崎・橘

1回戦 3―2山本・佐々木(福岡工)

2回戦 0―3間澤・福田(軽米)

田中・四垂海

1回戦 3―0佐藤・大平(福岡工)

2回戦 2―3桜庭・日向(伊保内)

三浦圭・丹野

2回戦 0―3山村・上方(葛巻)

三浦省・柴田

1回戦 2―3森越・桐川(伊保内)

女子ダブルス

森・早坂

1回戦 3―0谷地・榎口(葛巻)

2回戦 3―1村井・榎谷(葛巻)

3回戦 1―3觸澤・奥井(伊保内)

3位決定戦

3―2関向・狄塚(軽米)

県大会出場

佐々木・丹内

1回戦 1―3吉田・脇山(一戸)

第67回岩手県高等学校新人卓球大会

女子学校対抗

2回戦 0―3 花巻農

女子ダブルス

森・早坂

2回戦 0―3佐藤・榎山(関二)

第49回全国高等学校選抜卓球大会

(個人戦)岩手県予選会

男子シングルス

岩崎 拓

2回戦 3―1細川工(盛岡商)

